

15節 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）

18. 15. 1 適用範囲

この節は、屋内の合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りに適用する。

18. 15. 2 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り

(a) 下地がコンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード面等の合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りは、表18. 15. 1により、種別は特記による。特記がなければ、B種とする。

表18. 15. 1 コンクリート、モルタル、プラスター、せっこうボード面等下地の合成樹脂 								
--	--	--	--	--	--	--	--	--

(注) 1. 素地ごしらえの種別は、塗料その他の欄による。

2. 押出成形セメント板面の素地ごしらえは、表18. 2. 6によるB種とする。

【関西ペイントホルム・VOC対応代表製品】

工程	規格 番号	規格名称・種類	製品名 ホルム放散等級	溶剤 区分	TVOC	トルエン	キシレン	鉛	コスト指数
1・3	JISK 5663	合成樹脂エマルジョンペイント	ビニデラックス300 F☆☆☆☆	水性	0.3%	配合 せず	配合 せず	配合 せず	100
2	JISK 5668	合成樹脂エマルジョン模様塗料	スチップルビニペイント F☆☆☆☆	水性	4.0%	配合 せず	配合 せず	配合 せず	100

*1:TVOC(%):塗料配合中に含有する沸点250℃以下の揮発性有機化合物の総量を記載しています。

*2:配合量の数値は白の数値を記載しています。調色品については、色相により若干異なります。

トルエン・キシレン・鉛を配合していない塗料においても、原材料等の不純物質として極微量検出される場合があります。

尚、配合量の数値は、現在の原料情報に基づいたものであり、実際の測定結果ではありません。

*3:コスト指数は標準仕様内に記載されている標準塗料のkg単価を100として指数化したものです。

(b) 下地が鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面の合成樹脂エマルジョン模様塗料塗りは表18. 15. 2により、適用は特記による。特記がなければB種とする。

表18. 15. 2 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面下地の合成樹脂エマルジョン模様塗料塗リ								
工 程		種 別		塗 料 そ の 他			製 品 名	塗付け量 (kg/m ²)
		A種	B種	規格番号	規 格 名 称	種 別		
鉄 面 錆 止 め 塗 料 塗 り		○ ^(注)		18. 3. 3(a)によるA種				—
亜鉛めっき面錆 止 め 塗 料 塗 り		○ ^(注)		18. 3. 3(b)による。				—
1	あな埋め、 パテかい	○	○	JIS K 5646	カシュー樹脂下地塗料	カシュー 樹脂パテ	該当品無し	—
				JIS K 5591	油性系下地塗料	オイルパテ	該当品無し	
2	研磨紙ずり	○	○	研磨紙P220～240				—
3	下 塗 り	○	○	JASS 18 M-304	木部下塗用調合ペイン ト(合成樹脂)	—	ホルス下塗白	0.10
4	中 塗 り	○	○	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョン ペイント	1 種	ビニデラックス300	0.10
5	上 塗 り	○	○	JIS K 5668	合成樹脂エマルジョン 模様塗料	2 種	(相当品)スチプルビニペイント	0.60
6	仕上げ塗り	○	—	JIS K 5663	合成樹脂エマルジョン ペイント	1 種	ビニデラックス300	0.14

(注) 1. 鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りの種別は、塗料その他の欄による。

2. 工程3に用いる合成樹脂調合ペイントは、上塗り塗料製造所の指定する製品とする。

3. JASS 18 M-304は、日本建築学会材料規格である。

【関西ペイントホルム・VOC対応代表製品】

工程	規格 番号	規格名称・種類	製品名 ホルム放散等級	溶剤 区分	TVOC	トルエン	キシレン	鉛	コスト指数
3	—	木部下塗用エマルジョンペイント	アクリラントコート F☆☆☆☆	水性	1.1%	配合 せず	配合 せず	配合 せず	200
4・6	JISK 5663	合成樹脂エマルジョンペイント	ビニデラックス300 F☆☆☆☆	水性	0.3%	配合 せず	配合 せず	配合 せず	100
5	JISK 5668	合成樹脂エマルジョン模様塗料	スチプルビニペイント F☆☆☆☆	水性	4.0%	配合 せず	配合 せず	配合 せず	100

*1:TVOC(%) :塗料配合中に含有する沸点250℃以下の揮発性有機化合物の総量を記載しています。

*2:配合量の数値は白の数値を記載しています。調色品については、色相により若干異なります。

トルエン・キシレン・鉛を配合していない塗料においても、原材料等の不純物質として極微量検出される場合があります。

尚、配合量の数値は、現在の原料情報に基づいたものであり、実際の測定結果ではありません。

*3:コスト指数は標準仕様内に記載されている標準塗料のkg単価を100として指数化したものです。